

## 2019年3月3日 仁志の森の作業報告

天 候：雨

参加者：8名

報告者：星野



本日の参加者は、黛・高杉・桂・横山・芳野・辰尾・浅見および星野の8名。仁志の森に行く途中から雨が降り出し、気温も10度以下の寒い日。現地に着くと、川と公道との間の斜面に植栽されていたヒノキと雑木が皆伐され、風景が一変していた。このため、物置小屋は、丸見え。テーブルとウッドデッキのシートも目立つ状態になってしまった。当会としては、川沿いに樹木を植栽することを検討しなければならない。

本日の作業はつぎのとおり。

### 1. 3月5日の植樹現場の確認

雨の中、雨具を着用し、植樹現場に桂さんが持参したコナラの苗木10本を運び、植樹地とその周辺を確認。植樹地は、南東斜面のヤマツツジ植栽地の上部。

### 2. キノコ栽培のための櫓木用樹の選定

ヒラタケおよびシイタケ用の広葉樹として、カツラ・ホオノキおよびトチノキの伐採予定木を選定。形状と周囲の樹木との関係を見ながら選び、木肌にテープを巻いた。

ナメコは、ヒノキの間伐木を使用する。

本日の予定作業は終了したので、雨中であり、昼食を食べることなく、10時30分には、はやばやと解散した。

なお、2月10日に設置したメイプルシロップ採取用ペットボトルの貯留状況は、あまり芳しかなかった。安定して採取できない理由が分からない。



植樹予定地



一変した公道側の斜面



カエデ樹液採取